

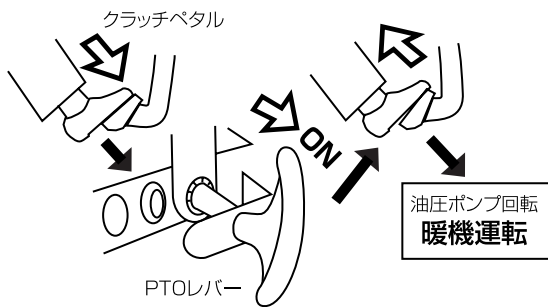
クレーン付トラック

使用上の取扱注意事項

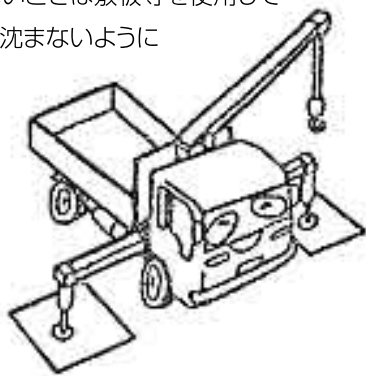
東京レンタル株式会社

冬期時（作動油温度10℃以下）は作動油粘度が高く、高速、高圧運転を繰り返し行なうと、ポンプの性能低下が早くなります。

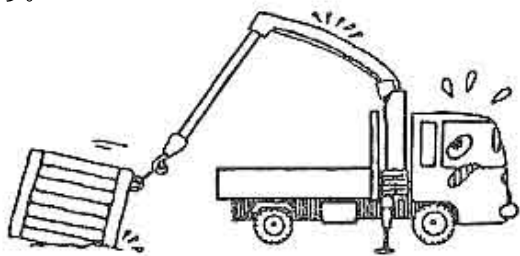
作動油が少し暖まるまで、PTOを「入」にしてエンジン低速回転で荷を吊らないでカーゴクレーン操作をして暖機運転する。



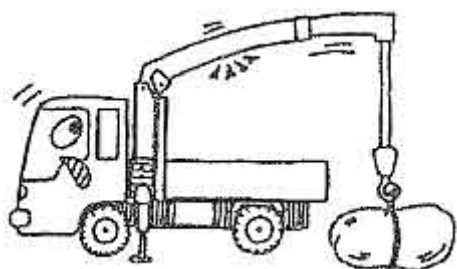
アウトリガの設置場所は水平堅土を選び、なるべく軟弱地は避ける。やむを得ないときは敷板等を使用してジャッキが地面の中に沈まないように養生する。



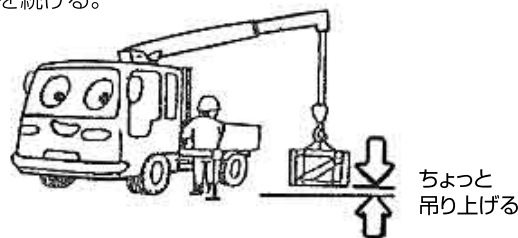
荷の引込み作業（横引き、縦引き、斜引き）は厳禁。カーゴクレーンに過大な負荷が加わるばかりでなく、大変危険です。



無理なクレーン作業は事故のもとです。定格総荷重を厳守し、オーバーロードは絶対にしないこと。



吊り荷を地切りさせたら一旦止めて、安全を確かめた上で作業を続ける。

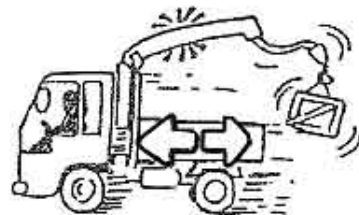


急激なレバー操作は、周囲の作業者へ危害を及ぼすばかりでなく、カーゴクレーンの安定も損ない、転倒することもあります。

特に起伏、旋回操作はゆっくりと操作する。

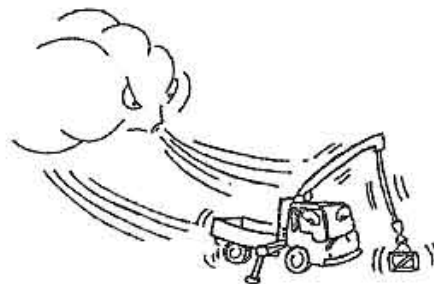


荷を吊り上げての移動は厳禁。カーゴクレーンは荷を吊って移動できる構造になっていません。



悪天候時は作業を中止する。

強風（10分間の平均風速が10m/s以上の風）、雷、雨等のため危険が予想されるときは、クレーン作業は行なわない。



頭上の障害物等にも十分注意する。

吊り荷ばかりに気を取られず、送配電線や頭上の障害物等にも十分注意する。

